

西支部三年ぶりの花見

大阪西支部は四月二日「桜の花見」を、うつぼ公園で三年ぶりに行ないました。よい天候と場所に恵まれ、恒例の太極拳も多くの人の注目の中、仲良くなつたスペイングループも飛び入り参加され大いに盛り上がりました。



(平松悦雄)

(昨年全国大会最優秀賞)は2000年9月創刊、秋に2000号、開設し、秋には三〇万アクセスを迎えます。西支部としてこら迎えて、組織拡大と記念行事を大きく成功させていくことを、先月の役員会で話し合いました。

行事予定

*六月三日(土)〜四日(日) 日中友好協会第六六回大会

東京都内で開催されます。

*六月二五日(日)午後二時から 西支部きりえ「うちわ」講習会

*七月二日(日) 日中大阪府連第六三回大会

大阪市内で開催します。

*七月七日(金) 盧溝橋事件勃発1937年から八〇周年

不再戦平和・七・七行動日

東大阪支部中国語学習会始まる

四月より二か月の計画で、中国語学習会を始めました。遠くは守口、羽曳野から申し込みがあり、現在十一名の参加で、参加費はコピー代として百円です。

この教室を始めたのは帰国者との交流がきっかけでした。第二の故郷、中国への期待、中国語が話せるようになりたい、聞き取りたい、中国旅行に役立ちたい、何よりも帰国者のみなさんと、日本での生活など身近な



2017/04/18

今回の学習会には帰国者二世と在日中国人の方も参加され、受講生は本場の普通話や方言も聞けるので良かったと。次は中国語で正しい発声を覚えることにしています。毎週火曜日午後二時から四時、北郷宅で開催して一回だけの参加も歓迎

(栗山俊子)

パックス・アメリカナからパックス・シニカへの胎動 全人代をふりかえる(続)

トランプの登場とその「自国防動向です。設立一年でA I I B主義」や産軍複合体をバックに加盟国は七〇カ国とA D B六七した「威嚇・挑発行動」といつか国を上回りました。アジアに時代錯誤の政策展開は、むしろおけるインフラ需要は26兆ドルアメリカの衰退を象徴している(二千九百兆円)に達してきます。「パックス・アメリカナ」から「パックス・シニカ」(アメリカから中国の時代へ)の到来を世界に予感させる状況です。二〇一七年全人代はトランプの展開に対して、余裕たつ「全方位対外開放」と「自由貿易と世界経済の発展への貢献」を強調しています。

大西広氏(日中友好協会全国副理事長)は昨年の新著で二〇三〇年に中国が「先進国化」す

ることを検証しました。その時、中国の国内総生産(GDP)は20兆ドルで、アメリカとほぼ同規模となります。間違いなく先進国です。まさに「パックス・シニカ」は現実味を帯びているのです。それゆえ、全人代の方針にもとづく歩みをしつかり見たいものです。日本主導の「アジア開発銀行(A D B)」総会が五月に開催され、加盟国中国も出席しました。議論の中心は「パックス・シニカ」が世界の平和・核なき世界・協調と融和へのリーダーシップを象徴するものとなるよう願わずにはおられません。

フラ投資銀行(A I I B)の

(山本恒人)